

海員春闘 [中央交渉]

第2回 内航交渉委員会 (内航労務協会・一洋会)

令和8年度の第2回内航交渉委員会は、3月11日の14時から、海員組合関西地方支部大会議室で開催し、第1回交渉で仮合意した「有効期間」を除く組合要求について逐条審議を行った。

船団側は、組合要求の基本給について賃金改善の必要性は理解するも、昨今の世界情勢は大きく変化しており、原油価格の高騰など先行き不透明な状況にある。また、過去3年間、満額回答を行っている中、組合要求は昨年以上の高水準で、検討する時間が必要で本日時点での回答は難しいとの考え方を示した。

これに対し組合側は、世間の情勢や人材確保の観点からも大幅な賃金改善は必要不可欠であり、内航海運の船員としてあるべき賃金を要求しているため、前向きな回答を示すよう求めた。

また、長期乗船慰労金について船団側は、長期乗船が発生している現状は理解するも、各人の都合で長期乗船しているケースもあり、本日時点での回答は難しいとした。

これに対し組合側は、労働協約書に定める適正な配乗がなされていないことから要求しており、事案を議論するのではなく、現状の改善が必要であると指摘した。

次回交渉は、3月17日に組合本部で開催することとし第2回交渉を終えた。

「海員だより」